

昭和 29 年度
事業報告書

自 昭和 29 年 4 月 1 日
至 昭和 30 年 3 月 31 日

昭和二十九年度事業報告

社団法人日本病院協会

昭和29年度業務報告

(自29.6.1)

社団法人日本病院協会

A. 庶務事項

7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	1月1日	2月1日	3月1日	4月1日	5月1日
------	------	------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------

定款一部改正、厚生省医務課へ批准を以て認可
 全日本赤十字連盟より、八會旗の入會あり（地方協會共）
 全日本通商銀行病院協議会より、三會旗入會（地方協會共）
 日本医療法人協会のり、二會旗の入會あり（地方協會共）
 「ノルサービス」の標準化に関する研究、に付て厚生省より厚生科学研究費補助金二九〇、〇〇〇円交付あり。

① 青野野原病院協会の設立、三三會旗入會す
 定年病院協会のり、五九會旗入會す
 秋田縣病院協会のり、一一會旗入會す
 会川縣病院協会のり、二〇會旗入會す
 新設旗の登記を完了す
 協会の職員会議、青野野原及び西武
 熊谷前理事長、理事等との協議、庶務理事會にて開催、於 藤澤エーモン
 飯沼氏及び、五〇〇〇円の寄附を受く。
 以て、石川縣病院協会のり、茶谷、衣氏逝去あり。
 群馬縣野原病院協会のり、改組の上、三會旗を以て入會あり。
 〓 陣サービスの標準化に関する研究、の標準化書を厚生大臣に提出した。
 〓 院サービスの標準化に関する研究、の研究記録を厚生大臣に提出した。

B. 研究及び奨励會

昭和29年度厚生省医務課	昭和29年度厚生省医務課	昭和29年度厚生省医務課
--------------	--------------	--------------

2. 理事會及び常務理事會

7月20日、昨年度の社会保険の職務を整理し、日本赤十字連盟を中心とする協会の事務を
 取り扱って「協会の業務を整理し、日本赤十字連盟を中心とする協会の事務を
 取り扱って」の旨、理事會の決議あり。

9月10日、日本赤十字連盟の理事會の開催あり。

9月18日、日本赤十字連盟の理事會の開催あり。

9月26日、日本赤十字連盟の理事會の開催あり。

11月18日、日本赤十字連盟の理事會の開催あり。

12月17日、日本赤十字連盟の理事會の開催あり。

1月14日、日本赤十字連盟の理事會の開催あり。

2月16日、日本赤十字連盟の理事會の開催あり。

- ① 金子尚等理事、野天等専務局長より基金の上理事長としての責任を述べ、
- ② 野天等専務局長より海野井菱士より會談経過報告を為す。
- ③ 理事會の報告、
- ④ 役員、業務分担をたずね、
- ⑤ 次定

3月11日

3月19日

4月26日

5月13日

金子常務理事 (廣報)

① 定期常務理事會を毎月第四火曜日開催に決定
 ② 事務局より會費並びに
 ③ 多租金の納入状況報告
 ④ 医療法人協會提議の同協會と合同して改定協定書
 の件は速に審議することとした
 ⑤ 健康保険法改正の件 於 病院會報
 ⑥ 診療報酬の根本的対策に付て新國會へ質問書を提出すること
 ⑦ 病院の
 ⑧ 電力料を特別扱いにするよう運動をすること
 ⑨ 製菓會社に対し諸物由
 下席の折柄特別引下を勧告すること
 ⑩ 定款一部改正の件
 ⑪ 3月19日海
 野牛護士出席の常務理事會に十一日休みの参加を決定
 ⑫ 特許方より化学物
 質等の世論調査に付ては皆屋常務理事一任決定
 ⑬ 日医会理事より各病
 院勤務医師の給与制へ生産協定依頼については賛否あることとした
 ⑭ 病院會報
 診療報酬改定全國病院実行委員會合同
 海野 大野西外護士を回して、診療報酬の適正に付て意見の交換を行う
 社會保障がある以上政府が責任を負はなければならぬに不効、その点保障
 法は甚だ明確を欠く、下つて不備を指摘、改正を研究すべく大野牛護士を混え
 健康保険法改正研究委員會を特設することを決定した 於 病院會報
 ⑮ 代議委員正副議長立候補届出の件
 ⑯ 電力料金特別扱い要請の件
 ⑰ 支
 基金に於ける診療報酬査定並に支払状況に關して事務局より報告、査定率に
 關し99.95%通知に付ては該通知は翌々月(契約期限の由)の25日頃より開始
 され、概ねその次月の五日頃に終了して居り、甚かと言つても僅である、1月
 分の資料では殆ど四月四五日に終了、三三の府縣が若干遅れて居り之も手帳上
 の遅れである
 ⑱ 健康保険法改正研究委員を決定(別冊)
 於 病院會報
 ⑲ 本年度理事報告に付て
 ⑳ 總會提出議案を決定した
 於 病院會報
 ㉑ 前ノ議案 昨和19年度改定算水収の件
 ㉒ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉓ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉔ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉕ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉖ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉗ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉘ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉙ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉚ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉛ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉜ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉝ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉞ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㉟ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊱ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊲ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊳ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊴ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊵ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊶ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊷ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊸ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊹ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊺ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊻ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊼ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊽ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊾ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件
 ㊿ 前ノ議案 昭和19年度改定算水収の件

3代 議 策 會

6月19日

8月25日

12月20日

5月24日

7月19日

9月17日

12月9日

3月26日

各 種 計 算 委 員 會

① 病院會報計算の最後の決定をなし、診療報酬改定より促進運動展開の決議をなし
 之が基本たる原簿計算の普及、徹底を図る為、八月廿三日、日赤市十号社議
 堂に於て講習會開催を決定した 於 病院會報
 ② 十月一斉原簿計算実施の件
 ③ 原簿計算要綱、調書を作成、配布の件
 ④ 地方講習會開催の件、十月中旬より
 ⑤ 病院経理方式統一を決定した
 十月一斉原簿計算実施に付て最後の検討を行う 於 病院會報
 病院擴大箇所簿記、勘定科目に付て集約教授を回して研究を行う 於 研究所
 日赤、聯立、厚生連、済生會傘下の病院より同報告を行う 於 病院會報

(4)

(5)

2. 〆院サーベスの標準化に關する厚生科研究委員会

7月20日 基準方針の決定を爲す 於 病院會報

8月11日 各委員の提出資料を檢討 ① 小委員會を設ける(鹿野、小西、荒木氏) 附作作成 於 病院會報

8月25日 ② 女医委員會へ附載 ③ 約1,000病院を調査の対象とする ④ 調査期間10月1日—31日 ⑤ 提出期限を翌年1月末日とする ⑥ 調査表の配付を9月中旬と決定した 於 病院會報

8月31日 小委員會作成原案の裁裁 於 病院會報

9月14日 調査表の案送等について 於 病院會報

9月20日 集計方法を、フロンツ、フロンツ、若等、若食、ハウスキーピング、看護と分類して工天々分理を決定す、フロンツ(小西委員) 給食(鹿野委員) ハウスキーピング(原委員) 於 病院會報

10月10日 集計状況の報告、統計方針の打合せ 於 病院會報

10月12日 統計様式の研究(小委員會) 於 病院會報

10月16日 集計表の交流、分科調査員より統計方法を説明を行う 於 病院會報

10月18日 分科委員より統計方法の報告、厚生大臣、學會報告の打合せ 於 病院會報

10月21日 各委員より資料の提供、研究報告書等に付打合せ 於 病院會報

10月23日 各委員より研究報告書の提供、学費、雜誌、茶本等に付打合せ 於 病院會報

10月29日 12団体並に地方協會より多数参加し、実行委員会を決定す 於 病院會報

11月1日 上條有介、金子準二、三本義雄(日野橋)、田沢壽二、近藤六郎(日野橋) 於 病院會報

11月1日 藤原貞忠、庄、寛(西宮)、元吉、少(精神病協)、神崎三益、多々見 於 病院會報

11月1日 徳元(田、赤)、神田順徳(清生會)、岡村、一、石川正隆(医育機動) 於 病院會報

11月1日 有田不二、一見科夫(公立豊原)、多田一、藤口平吉(豊立)、塩川藤一 於 病院會報

3. 診療報酬改正全国病院実行委員会

7月29日 平塚英一(厚生連)、谷川部長(子母會) 以上の各氏 於 病院會報

7月30日 水谷日医副會長、山田東京都医師會會長出席 於 病院會報

7月30日 実行委員12名にて陳情書を作成し、日野大臣、水谷日副會長と運動方針を協議の上 於 病院會報

7月30日 厚生大臣、参事厚生局長、自由党大野總務會長、水田政調會長へ陳情す 於 病院會報

7月30日 提発資料、「実地細は斯くありおぼやうぬ」「厚生省並に健保連合會の内幕を促す」等に付し、日野、参事、厚生局長等に於て打合せを行う 於 病院會報

7月30日 「新診療費体系について」地方よりも多数出席し、厚生省醫務局長曾田氏等より一時同席の說明あり、その後質疑応答も行う 於 病院會報

7月30日 新診療費体系調査委員会設置に決定 於 病院會報

7月30日 神崎三益(委員長)、塩沢能一、原、赤竹、岸山、秋、岸屋、崎、金子準二 於 病院會報

7月30日 横川、川島、張一、平塚英一、鹿口平吉、鹿野賢二、9/11氏 於 病院會報

7月30日 ① 診療報酬改訂対策、本年度の赤字5.0億円に對する厚生省の措置並に対策如何 於 病院會報

7月30日 ② 最悪の事態に對しての準備 於 病院會報

7月30日 ③ 診療報酬適正化について 於 病院會報

4. 完全復興委員会

10月4日 第一回打合せ會

委員長、長岐佐太郎、席、赤行、川島康一、瀬川、功、宮地、齋、高坂清元、片山壽子、のり氏

片山壽子、のり氏

5. 新医療費体系調査委員会 (診療報酬改正全国病院実行委員会より分離時設す)

10月12日 席具の規格原案を作成す、各意見を徴する、決定

委員長、神崎三益、金子準二、片山、私、寺屋、博、川島康一、齋、高坂清元、赤行、瀬川、功、尾口平吉、平塚、新一、斎野、賢一、のり氏

10月25日 意見開陳の後、日医、已医師會、外國等の資料を蒐集する、決定

10月29日 全国公立病院院長連盟(會長有田不二氏)と

11月4日 神崎委員長が「新医療費体系」に付て打合せを行つた

12月10日 赤木善甲、日医の厚生部の新医療費体系に對する副總監、適正なる科学技術に

5月13日 基く社會保険診療報酬を公表に付て意見の交換を行ふ

3月11日 尚、各論に付て検討を加へたる

1月28日 技術料等に付て討議す

4月16日 税対策、狼子方針の樹立に付て、医療法人、個人病院へ意見を徴す、

8. 健康保険法改正研究委員会

委員長、神崎三益、尾口平吉、金子準二、片山、私、黒崎、新一、小西、玄

高坂清元、神田、順城、齋藤、浩、庄、龍、齋、次、純一、田村、一

藤原政繁、平塚、新一(五ノ字會費)、のり氏

大野、兼士

5月18日 政府官庁の責任は政府にあるといふことは当然でも認められて居るが、いざ決定する

とせんとす、たゞはつきりしない、進歩に付ても社會的事實であるが法律上進歩

であるか、之はつきりしない、之を追究する方は、いづうに保護されてい

る、医療担当者の力を借りなければ保険制度の施行がでないにも不特、且又憲

法が改正されている現在、旧時依然、医療担当者にのみ責任を強いるの如き法條

は極めて不合理で、被保険者に對しても最善でないといふことは等しく認めら

るが、改正等に付て、大野兼士も困んで活発に討議された、要言左の如し

1. 進歩に付て保険医に對して保護がない(支払遅延防止法の適用)

2. 公平に就ける契約(法文をはつきりさせる)

3. 契約ではなからうのとの有かり意見もあるが、公的には法務省より同意が

出ていて適用なしとしている

4. 指定医も契約医と改める

5. 指定が契約であるか否か(保険医と團が契約であるか、契約であれば適

用を改める)

6. 契約の對象も個人医師だけでなく、病院のような法人では管理病者より当業者とする

7. 保険審査も附かりく、に初診病院でなく受ける側の権利が保護されぬより改め

7. 新医療費体系調査委員会

10月4日 第一回打合せ會

委員長、長岐佐太郎、席、赤行、川島康一、瀬川、功、宮地、齋、高坂清元、片山壽子、のり氏

片山壽子、のり氏

5. 新医療費体系調査委員会 (診療報酬改正全国病院実行委員会より分離時設す)

10月12日 席具の規格原案を作成す、各意見を徴する、決定

委員長、神崎三益、金子準二、片山、私、寺屋、博、川島康一、齋、高坂清元、赤行、瀬川、功、尾口平吉、平塚、新一、斎野、賢一、のり氏

10月25日 意見開陳の後、日医、已医師會、外國等の資料を蒐集する、決定

10月29日 全国公立病院院長連盟(會長有田不二氏)と

11月4日 神崎委員長が「新医療費体系」に付て打合せを行つた

12月10日 赤木善甲、日医の厚生部の新医療費体系に對する副總監、適正なる科学技術に

5月13日 基く社會保険診療報酬を公表に付て意見の交換を行ふ

3月11日 尚、各論に付て検討を加へたる

1月28日 技術料等に付て討議す

4月16日 税対策、狼子方針の樹立に付て、医療法人、個人病院へ意見を徴す、

7. 新医療費体系調査委員会

委員長、神崎三益、尾口平吉、金子準二、片山、私、黒崎、新一、小西、玄

高坂清元、神田、順城、齋藤、浩、庄、龍、齋、次、純一、田村、一

藤原政繁、平塚、新一(五ノ字會費)、のり氏

大野、兼士

5月18日 政府官庁の責任は政府にあるといふことは当然でも認められて居るが、いざ決定する

とせんとす、たゞはつきりしない、進歩に付ても社會的事實であるが法律上進歩

であるか、之はつきりしない、之を追究する方は、いづうに保護されてい

る、医療担当者の力を借りなければ保険制度の施行がでないにも不特、且又憲

法が改正されている現在、旧時依然、医療担当者にのみ責任を強いるの如き法條

は極めて不合理で、被保険者に對しても最善でないといふことは等しく認めら

るが、改正等に付て、大野兼士も困んで活発に討議された、要言左の如し

1. 進歩に付て保険医に對して保護がない(支払遅延防止法の適用)

2. 公平に就ける契約(法文をはつきりさせる)

3. 契約ではなからうのとの有かり意見もあるが、公的には法務省より同意が

出ていて適用なしとしている

4. 指定医も契約医と改める

5. 指定が契約であるか否か(保険医と團が契約であるか、契約であれば適

用を改める)

6. 契約の對象も個人医師だけでなく、病院のような法人では管理病者より当業者とする

7. 保険審査も附かりく、に初診病院でなく受ける側の権利が保護されぬより改め

D. 諸 會

右に付テテ手帳 方法に付テテ意見があつたが、大回6月、日開催の委員会各委員が意見と文書を以て提出し、宿議の上決定、且又立派の會ハハ附議ナリト定於 病院會館
 於 日赤本社議堂
 謝 御時委員長 守屋 博 尾口平志 早坂敦一 真山島美 東 美晴ノ各氏
 出席 一七三名 一一五名

武蔵野市十字病院 (各市十字病院)
 国立東京第一病院 (A) 国立立病院 B 厚生連病院 C 其の他病院)
 千葉縣民愛護會主催原簿計算及他議成會
 神戶副會長 東 敦晴氏 野沢幸秀局長、出席
 日本病院協會 大阪府病院會、日本医師法入務會 並に同大阪支部共催にて大阪市北野
 病院講堂にて「病院原簿計算等講習會」を二〇〇余名参加盛大に開催した

大阪府衛生部医務課長 鶴崎 敏 氏
 日本病院協會副會長 藤 森 真 治 氏
 病院原簿計算 式 坂 野市十字病院 東 美晴 氏
 前日下刊後
 病院 管理 病院管理研究所厚生技官 山 田 宏 氏
 病院の管理 日本医業法人協會長 藤 森 真 治 氏
 原簿計算人の管理並に院務指導
 日本医業法人協會院務部理事 平 石 雨 氏
 東京公衆衛生局長 吉崎敏雄氏 社會評論家 野山貞親氏、時局擴張會、虎ノ門大着
 講下刊後

7月26日 新報報及印刷部院院執行委員會に於て、馬場大馬、森孝生委員長、自由党大野建彦
 會長、水田文雄會長、入陳情す
 8月24日 千葉縣民愛護院協會、委員會(於新報報)と厚生連管理課、野沢幸秀局長と布野
 參議院厚生委員長中山壽房氏に神戶副會長の意見、病院の業務を説明す
 8月24日 厚生連管理課副長、神戶副會長の意見、病院の業務を説明す、新報報副長及び、中央社
 會保險院醫務協會に病院より「メンバ」を送るよう訴ふ
 8月24日 新報報厚生(委員)長中山壽房氏に會え、神戶副會長の意見
 神戶副會長より資料に基き約一時間、且り病院の現状を報告し、各委員其診察報酬の
 上の必要を認め、且り健康促進會側には得るを得るよう推察した
 自由党院醫務保險制度調査特別委員會(委員長山崎 巖氏)に神戶副會長の意見
 新報報副長に付て資料を提出し、且り現状を説明す、各委員其診察報酬を新報報に
 て異論がなく、又病院のウエイトが重く、且り現状、病院側より公私を問はず代
 表を、控くよう強く要請した

E. 運 動

9月30日 参議院厚生(委員)長中山壽房氏下臨時總會の決議による、新報報の及、中央社會保
 險院醫務協會の及、厚生連の構成入りの再編成及び、中央社會代表者入り、厚生連保護法患者の
 健康金通付対策に付て陳情す
 10月4日 中央社會保險院醫務協會長 湯沢三千男氏を神戶副會長が自定、訪問懇談した
 10月8日 参議院厚生(委員)長中山壽房氏に神戶副會長「新報報費付金」に付て参入人として出席す
 10月20日 臨時總會の決議による、探病を厚生大臣、参議院厚生(委員)長として出席す
 10月26日 日本赤十字會副會長と神戶副會長が會見す
 日赤より日病協が「新報報費付金」を返したとの事、且り又かあるか如何と訊之、其は上

対し物命終行の通達通り誤報である旨表明
 日病勢の動向が各方面より注視されている

2月4日 診療部改正全国病院実行委員会の大議を以て関係方面へ要請す(別稿委員等参照)
 2月5日 右に付て神崎、一見副会長が多岐院降凡會改調會長廣理久忠氏を自定し訪門を開放す
 2月6日 同じく中社會降凡會改調會長 渡次三千男氏を自定し 門を開放す
 2月8日 在 常務理事 野次事務局長の選出等に付て海野年護士と會見要談す
 2月9日 金子常務理事 野次事務局長の基金川上理事長に選出状宛、今後の見直しを聴取す
 く意見

3月9日 神奈川縣医師會(大會)に神奈川縣病院協會設立に關し 神崎副會長、野次事務局長出席す
 於 神奈川縣医師會館

3月11日 医療新報會上條會長、在 常務理事(看護會委員) 出席す、於 日赤医師會館
 水取日副會長より今後委員會に付て委員に限らず協會側より多数出席の上意見を述べられ及いとの申出があった

3月20日 埼玉縣病院協會設立準備會に、神崎副會長、野次事務局長が出席す
 島 清一郎、丸山、多々見龍元、伊藤祐三郎、田辺増三郎、田中重四郎會長の各氏も出席す
 此下同〇致々出席し盛會であつた

3月23日 山形縣病院協會講演會に講師として神崎副會長出席す 於 鶴立山形病院小児科講堂
 3月23日 医療新報會上條會長、在 常務理事(以上委員) 金子、長崎常務理事出席す
 於 日赤医師會館

4月22日 龜山談話、不付厚生水電と神崎副會長が診療部助並に新医療價付条に付て懇談す
 (會場名馬場、或は付道場)

9代 後 庚
 五味朝一郎(青島) 渡辺金次郎() 高橋与市氏(山形) 山本公房氏(岩手)

H 會

佐藤 馨氏(岩城)	佐田 文氏()	島橋 清氏(群馬)	河橋 三郎氏(千葉)
佐々 實之氏(東京)	石倉 重雄氏()	村田 千房氏()	田谷 誠氏()
石川 洋平氏()	小野 康平氏(栃木)	松井 盛三氏(新潟)	藤田 吉一氏()
米村 長敏氏(富山)	草野 久也氏()	谷口 高氏(岐阜)	中野 秀彦氏(福井)
浜名 龍氏(神戶)	多々見龍雄氏()	森 原樹氏(愛知)	石立 勝氏()
今村美九三氏()	青井 幹郎氏()	定村 隆基氏(三重)	川島 茂一氏(滋賀)
古玉 太郎氏(京都)	谷野 三郎氏(大阪)	山本 重文氏()	三矢 隆吉氏()
谷向 茂峻氏(兵庫)	平田 亨氏()	山本 武氏()	廣川 康雄氏(奈良)
勝 慶次氏(和歌山)	稻田 二郎氏(山口)	阪田 良一氏()	三谷 登氏(大阪)
田代英太郎氏(福岡)	松浦 秀明氏()	赤星 一朗氏()	岡崎基一朗氏(佐賀)
向島 良二氏(清生會)	成田敏太郎氏()	山川 信一氏(熊本)	山崎 輝雄氏()
多々見龍九氏(日赤)	服部達太郎氏()	元吉 功氏(精神)	樋口 一誠氏(西貢機關)
坂井 兼清氏(鳥取)	五三各		

青森縣 43	岩手縣 29	宮城縣 41	山形縣 37	群馬縣 32	栃木縣 31	埼玉縣 43	千葉縣 35
東京都 158	新潟縣 23	富山縣 53	石川縣 60	山梨縣 2	長野縣 40	岐阜縣 22	静岡縣 44
愛知縣 127	三重縣 15	滋賀縣 26	福井縣 19	京都府 12	大阪府 112	兵庫県 28	奈良縣 13
和歌山 4	鳥取縣 6	島根縣 23	山口縣 41	香川縣 20	愛媛縣 20	福岡縣 28	佐賀縣 31
日赤 7	日赤 22	日赤 2	日赤 2	日赤 2	日赤 2	日赤 2	日赤 2

4433

財 産 目 録

資産の部			
銀行預金	預貯金		77,683
仮払金	人事部仮払金	10,000	
	東条病院協会	38,700	
	12団体	13,387	
			62,087
什器備品	応接セット一式		44,500
未収入金	昭和29年度未収会費	557,200	
過	通年未収会費	2,400	2,400
	分担金	427,400	
			987,000
	資産合計		1,171,270
負債の部			
仮渡金	ケヤ	20,000	
前受会費	前受会費	9,200	
	熊谷氏	5,000	
			34,200
	負債合計		34,200

貸借対照表

昭和30年5月31日現在

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
銀行預金	77,683	仮渡金	34,200
仮払金	62,087	基 金	300,000
什器備品	44,500	繰越金	837,070
未収入金	987,000		
合 計	1,171,270	合 計	1,171,270

昭和29年度收支決算書(自29.6.31至30.5.31)

社団法人日本病院協会

収 入 部					
科 目	金 額		豫算額	比 較	備 考
	款	項			
昭和29年度會費	1,371,400	1,371,400	1,712,400	△341,000	收納率50%
週年會費	239,400	239,400	241,500	△2,400	" 97%
分 租 金	476,800	476,800	528,000	△51,200	" 57%
推 收 入	180,347	180,347	50,000	130,347	入替9,164 本誌25,000 別子1,753 原簿7,925,400 繰越入 5,660
假 受 金	7,200	7,200	0	7,200	30年度會費前受
前期繰越金	100,634	100,634	100,634	0	
計	2,375,781	2,375,781	2,932,834	△557,053	
支 出 部					
科 目	金 額		豫算額	比 較	備 考
	款	項			
芽 券 費	709,670		813,000	△103,330	
給 料		444,000	468,000	△24,000	15,000×12=180,000 12,000×10 12,000×12=144,000 =120,000
手 当		77,600	90,000	△12,400	68,000 手-77 9,000 即應勤勞手当
請 給		0	5,000	△5,000	
厚生費		39,000	100,000	△61,000	職工退任手当引当金 1年1月迄付 15月分
旅費交通費		149,070	150,000	△930	旅費出張費5,000 9月2,650 陳情40分 印刷費2,350
物件費	366,871		300,000	66,871	
通信費		93,670	70,000	23,670	租金44,100 手-27,000 取扱15,400 印刷費2,100
消耗品費		46,523	50,000	△3,477	用紙35,166 原簿1,300 40分 文具費
印刷費		187,983	150,000	37,983	原簿150,000 繰越12,980 本誌4-1,900
什器備品費		15,000	10,000	5,000	本誌
推 費		23,675	20,000	3,675	
會 費	80,996		115,000	△34,004	
雜會費		42,051	75,000	△32,949	定期給金 3,181 臨時 20,500
役員會費		35,765	20,000	15,765	副役員手当5,000 役員地租5,000 5
請會費		3,180	20,000	△16,820	千原給付金等手間雜費
事業費	352,741		1,086,620	△733,879	
調査研究費		11,350	0	11,350	書籍 医学誌等
會 費		71,570	108,000	△36,430	病院関係通信4,500
學 費		8,770	8,620	150	津田国大給費
社 費		16,000	30,000	△14,000	12月分 事務費改正委員会
委員會費		245,051	940,000	△694,949	原簿委 230,720 繰 11,000 原 2,380 原簿法政 55
借 入 料	360,000	360,000	360,000	0	30,000
償 還 金	442,298	442,298	200,000	242,298	東京病院協會送金
芽 券 手 料	6,150	6,150	0	6,150	院印手料
假 排 金	23,387	23,387	0	23,387	
予 備 費	0	0	58,214	△58,214	
次 期 繰 越 金	33,638	33,638	0	33,638	期末仕入種田租金高
計	2,375,781	2,375,781	2,932,834	△557,053	

上記監査致しました年度相違なきものと認めます。 △印成
昭和30年6月15日

監 事 伊 藤 恭 一 郎
監 事 石 川 正 臣

會報費明細書

病院綜合通信 每月15日發行予定

科目	金額		備 考
	款	項	
印刷費	355,400		
		190,000	A.8 10回 3,000部 @15,000 × 10 = 150,000 A.10 2" " " @20,000 × 2 = 40,000
		8,400	滯封代
		6,000	寫真押入費 10回 @ 600-
		12,000	印刷費 3,000部 @ 1,000 × 12 = 12,000
		4,000	原稿用紙 1連
		135,000	綴込表紙 3,000部 @4500
編集費	60,000	60,000	近藤氏寫真料
謝 金	36,000	36,000	
通信費	168,000		
		144,000	第Ⅲ種 @ 4=月 12,000 × 12 = 144,000
		24,000	第Ⅴ種 @ 8- 3,000部 × 8 = 24,000
會 費	6,000	6,000	12回 @ 500-
推 費	4,600	4,600	運輸、交通費外
計	630,000	630,000	

昭和30年度收支豫算書 (第30, 6, 1, 至31, 5, 31)

社団法人日本労働協会

收 入 の 部				
科 目	30年度予算額	前期決算額	比 較 Δ 減	備 考
昭和30年度會費	2,900,000	1,371,200	1,528,800	1611會費 @ 1,800
過年度會費	105,600	239,400	△ 133,800	29年度50會費 45,000 @ 1,800 96會費 54,600
分組金	262,000	0	262,000	
推 收 入	153,000	180,247	△ 27,347	入會部 80,000 厚生科費 70,000 13,000 利 子 1,000 報告料 5000×12=60,000
立 寄 金 入	13,387	0	13,387	診療報酬改正金 (12団体) 立寄金
会 費 金	0	7,200	△ 7,200	
分 組 金	0	476,800	△ 476,800	
前期繰越金	33,638	100,634	△ 66,996	
計	3,467,625	2,375,781	1,091,844	
支 出 の 部				
科 目	30年度予算額	前期決算額	比 較 Δ 減	備 考
事 務 費	1,462,000	709,670	752,330	
給 料	839,000	444,000	395,000	29年度賃金増加分計上級 77,000 (臨時費) 20,000, 18,000, 10,000, 8,000, 7,000 (4927) 5人 63,000×12=756,000 水+火 2,000×12=24,000 臨時費等外
手 当 給	150,000	77,600	72,400	
消 給	10,000	0	10,000	臨時准分
房 住 賃	123,000	39,000	84,000	宅費等前引金 1年11月付材料 177分 63,000 法定福利費等 3,000×12=36,000
旅 費 交 通 費	300,000	149,070	150,930	離職金出張旅費 150,000 (前期に差込金計上) その他 150,000
水 熱 費	40,000	0	40,000	29年度賃金増加分計上級 16,000 (臨時費) 水道料 30 " " @ 2000×12=24,000 電灯暖房
物 件 費	400,000	366,871	33,129	
通 信 費	200,000	93,670	106,330	29年度賃金増加分計上級 32,560 (臨時費) 30 " " @ 3,500×12=42,000 郵便料 125,440
消 耗 品 費	70,000	46,523	23,477	用紙 膠筒 印筒 等の文具費
印 刷 費	20,000	187,983	△ 167,983	印刷印刷代
什 器 備 品	80,000	15,000	65,000	917214- 膳厨機 食器7個 新置入
雜 費	30,000	23,695	6,305	帳簿等教科 15,000 40.40 15,000
會 費	110,000	80,996	29,004	
總 會 費	50,000	42,051	7,949	
政 策 會 費	50,000	35,765	14,235	
諸 會 費	10,000	3,180	6,820	
事 業 費	940,000	352,741	587,259	
調 査 研 究 費	20,000	11,350	8,650	法規書籍 西平隆就 290冊
會 報 費	630,000	415,700	555,430	別紙の通り
学 會 費	20,000	8,740	11,260	
科 際 費	20,000	16,000	4,000	
委 員 會 費	250,000	245,051	4,949	健康法改正等 56,000 補正費 50,000 概 56,000 印刷費 30,000 備費 20,000 他 30,000
償 還 金	0	442,298	△ 442,298	
借 入 料	360,000	360,000	0	@ 30,000
預 向 料	150,000	0	150,000	海野有喜共 100,000 大島分譲士 50,000
課 金 込 込	7,200	0	7,200	前年度費控替
假 込 金	0	23,387	△ 23,387	
予 備 金	38,425	0	38,425	
事 務 手 教 料	0	6,180	△ 6,180	
次 期 繰 越 金	0	33,638	△ 33,638	
計	3,467,625	2,375,781	1,091,844	

以上監査の結果正当なるものと認めます。

昭和三十一年六月十五日

社団法人 日本病院協会

監事

伊藤 恭二郎

同

石川 正臣

右承認します。

昭和三十一年六月十五日

社団法人 日本病院協会

理事

上條 秀介

藤森 眞治

神崎 三益

一見 耕夫

小川 武夫

小林 美夫

椎名 泰三

高橋 昇一

塩沢 総一

莊子 寛二

金子 準二

長坂 佐武郎

伴屋 博

片山 弘

高橋 敏行

棚橋 三雄

敷波 義雄

同

同

同

同

同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

田村 渡邊 黒河 伊藤 豊佐 松多 尾太 竹植 中川 名瀨 坂原 橋田 三久
仲元 井谷 辺田 合藤 田藤 原賀 口田 内松 村島 倉川 本本 村友 友園
信三 牧英 五吉 文九 太一 平信 銳文 震美 恒素 寛義 善次
一界 郎三 二徹 郎孝 一郎 郎郎 吉武 藏治 二一 二功 雄行 敏一 雄郎

十三行

同 同 同 同 同 同

中 院 孝 田
本 濃 信 善
武 藤 多 作
西 村 崇 恭
遠 城 寺 宗 德
因 野 建 二

臨時社員総会議事録

昭和式九年九月式九日台東区上野公園精養軒に於て文京区湯島参丁目老番地社団法人日本病院協会の臨時社員総会を開催した

社員総数 八五名

出席社員(委任状共) 八五名

右のとおり全員の出席があつたので理事上条秀介は議長席につき開会を宣したのち直ちに左記議案の審議に入つた

議案 理事及監事任期満了につき改選の件

議長は当法人の理事及び監事の全員即ち

- | | | | |
|----|-------|----|------|
| 理事 | 上条秀介 | 理事 | 豊田文一 |
| 全 | 西村泰 | 全 | 松原太郎 |
| 全 | 瀬谷千代丸 | 全 | 柳武夫 |
| 全 | 金子準二 | 全 | 肝山茂隆 |

- | | | | |
|----|-------|----|-------|
| 理事 | 荘寛 | 理事 | 佐藤元一郎 |
| 全 | 長岐佐武郎 | 全 | 藤本順 |
| 全 | 守屋博 | 全 | 村元界 |
| 全 | 菊地真一郎 | 全 | 竹田正次 |
| 全 | 中山栄之助 | 全 | 横山広速 |
| 全 | 佐藤隆房 | 全 | 大島宗二 |
| 全 | 加藤豊治郎 | 全 | 赤岩八郎 |
| 全 | 大沼貞蔵 | 全 | 中村彌雄 |
| 全 | 青木清四郎 | 全 | 久米直助 |

の式六名並に

- | | | | |
|----|------|----|------|
| 監事 | 三沢敬義 | 監事 | 大森憲吉 |
|----|------|----|------|

の式名は昭和式九年五月式六日任期満了により退任したのでこれが改選の必要がある旨を述べその選任方法を一同に諮つたところ議長一任の発言があつたので議長は改めてその可否を議場に諮つた結果

満場異議なく賛成したので議長は左のとおり指名し各自就任を承諾した

理事	上条秀介	理事	守屋博
全	藤森真治	全	片山弘
全	神崎三益	全	高橋敏行
全	一見 次 夫	全	棚橋三郎
全	小林英一	全	敷波義雄
全	椎名泰三	全	久保園善次郎
全	高橋昇	全	三友義雄
全	塩沢総一	全	田村一
全	荏寛	全	橋本寛敏
全	小山武夫	全	原案行
全	金子準二	全	坂本恒雄
全	長岐佐武郎	全	瀬川功

理事	名倉英二	理事	渡辺英二
全	川島慶一	全	亀谷敬三
全	中村文治 ^次	全	浅井三郎
全	植松鋭治	全	村元界
全	竹内信藏	全	田伸信一
全	太田武	全	中院孝円
全	尾口平吉	全	広瀬信善
全	多賀一郎	全	武藤多作
全	松原太郎	全	西村泰
全	佐藤元一郎	全	遠城寺宗徳
全	豊田文一	全	岡野建二
全	河合五郎	監事	伊藤恭二郎
全	伊藤吉孝	全	石川正臣
全	黒田徹		

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
黒田	伊藤	河合	豊田	佐藤	松原	多賀	尾口	太田	竹内	植松
	吉	五	文	元	太	一	平		信	純
徹	孝	郎	一	郎	郎	郎	吉	武	藏	治

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
中村	川島	名倉	瀬川	坂本	原	橋本	田村	三友	久保
文	慶	英			素	寛		義	園
次	一	二	功	雄	行	敏	一	雄	善次郎

出席理事
 敷波 義雄

